

### 謹賀新年 年頭のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。  
日頃より弊社の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。お蔭様で、ギャラリー S O R A でのイベントも、なんとか定着してまいりました。今年は、住宅工房 S O R A の活動をより多くの方に知っていただく為、桜の時期に「住宅工房 S O R A の家づくりフェア」を開催します。家づくりのコンセプト、設計イメージ、また、簡単な実験や体感を通して、地球温暖化などの環境問題への取り組みをご紹介します。

更に、いわき地区での「ライフサロン」事業参入を機に、新たな顧客満足実現に向けて、新しいフィールドでの思いの実現を進めていきます。「ライフサロン」と家づくりの共通点は、どちらもお客様の人生設計に大きくかかわる事ができるということです。家づくりは夢の実現であり、家族が前向きに生き生きと暮らしていく源泉になるものだと思います。「ライフサロン」も、お客様の人生の大切な部分で永くかかわっていくことができ、喜んでいただくことができる、本当にやりがいのある仕事です。弊社は、地域に根ざした『顧客満足追求企業』として、更なる躍進を目指します。

2008年はオリンピックも開催されます。弊社としても新たな取り組みが盛り沢山で、今からワクワクしています。今年もよろしくお願い申し上げます。

代表取締役 田中 昭弘

### ペレットストーブを囲んだバーベキューパーティーを開催しました。

12月2日(日)、ペレットストーブを囲んだバーベキューパーティーを開催しました。お忙しい中、多くの方のご参加を頂きありがとうございました。今年は、新潟のさいかい産業さんにご協力を頂きました。



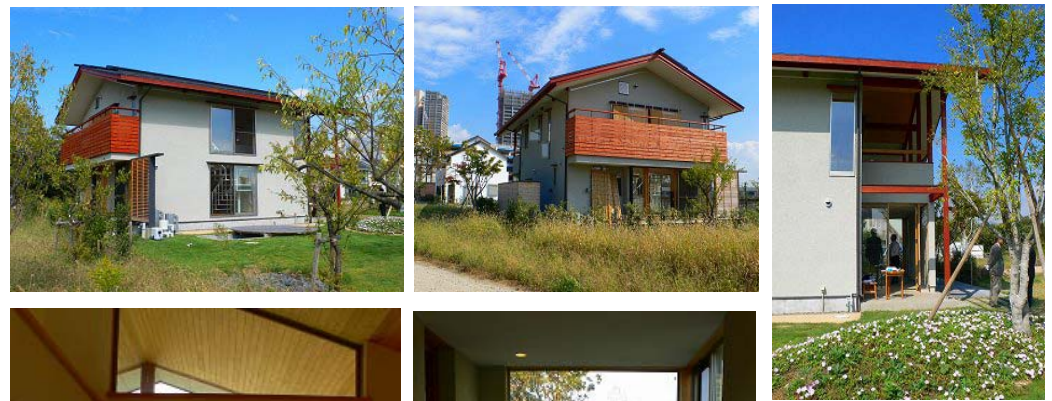
今回のペレットストーブ「カローレ」は、1万キロカロリー以上のパワーがあり、燃焼部分の幅が広がっています。ひと目見て、一般的なペレットストーブよりも炎が大きいと感じました。燃焼炉よりも小さな薪ならば燃やせるそうです。FFとはいえ、扉の部分は熱くなるので、多少の輻射熱も期待できるようです。また、取手にはうづくり加工した桐が使われていて、重量感がある割には扱いやすそうです。ペレットストーブに関しては、自治体で補助金を出しているところもありますので、手入れや操作に時間をかけたくない方はお奨めです。12月は、バーベキューとしてはちょっと寒かったので、次回はもう少し早く、10月下旬頃に企画したいと思います。さいかい産業さんには、シーズンに入りお忙しい中にもかかわらず、遠路ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

### 実証実験棟

10月12日(金)、高千穂の実証実験棟を見学してきました。高千穂さんは、千葉大学を核とする産学共同研究事業「ケミレスタウン・プロジェクト」に参加しています。

このプロジェクトはシックハウスを疑われる子供の患者と、そのご家族を主な対象として、化学物質を低減した居住施設群を千葉大学環境健康フィールド科学センター内に建設し、患者とそのご家族が実際に住み、症状改善を実証し、今後の生活環境の指針を得ることを目的としています。

プロジェクトには、積水ハウスなども参加しておりますが、化学物質を低減する手法として設備機器を充実させ、どちらかといえば機械的に対応させようとしているのに対し、高千穂さんの実証棟は、OMや同社の薩摩中霧島壁などを利用し、限りなく自然素材100%に近い住まいづくり「シラス+の家」として、パッシブに自然に対応しようとしているのが大きな違いです。



### 「シラス+の家」データ

敷地面積：240㎡、延床面積：136㎡、構造：在来木造2階建、

設計：丸谷博男

構造材：薩摩鉄杉、下地材・耐力壁面材：モイス、

断熱材：セルロースファイバー、

仕上材：シラス壁・無垢材、家具・建具：無垢材+にかわ・・・など。

実験はこれから始まりますが、どのような結果が出るか楽しみです。

「ケミレス」「ケミレスタウン」は、NPO次世代環境健康学センターの登録商標です。

### 人材募集のお知らせ！

「ライフサロン」のいわき出店を機に、住宅の企画・営業・設計部門を併設し、将来的にはいわきがその中枢となるような拠点づくりを目指します。『仕事に真剣に取り組み、情熱を燃やすことができる人材』を求めています。

【住宅工房SORA】 営業・企画 : 1~2名(常時募集)

【ライフサロン】 キャスト : 2名(4月から勤務)

詳しくは下記ホームページでご確認の上、弊社までお問合せ下さい。

住宅工房SORA <http://www.ta-na-ka.co.jp>

ライフサロン <http://www.lifesalon.jp>

この通信は、これまでご縁のあった方々にお届けしています。

中止のお申し出がない限りこちらの一存でお送りしますが、一年以上音信のない方には、その後ご連絡があるまで休止させていただきます。

## 苔による緑化

最近、一般の住宅でも植栽に苔を使うことが増えてきた。コケはいろいろな生物の寄せ集めだが、中でも蘚苔（センタイ）類と地衣（チイ）類は代表である。蘚苔類は別名、コケ植物と呼ばれている。スギゴケやゼニゴケは比較的良好に知られているのではないだろうか。それに引きかえ地衣類という名前は全くといってよいほど知られていない。トナカイがコケを食べるとするのは、じつはハナゴケなど地衣類の仲間だ。また身近にもたくさんの地衣類があって、多くの人は知らないうちに目にしているはずだ。

蘚苔類は、シダ植物や種子植物などと同じ植物の仲間であり、細胞の中には葉緑体があって、光を浴びて光合成をし、自分で養分を作り出している。いっぽう、地衣類は菌類の仲間だ。つまり、カビやキノコの親戚である。菌類は一昔前までは植物の仲間とされてきたが、いまでは植物、動物と並ぶ大きなグループであることが知られている。それだけ地衣類と蘚苔類も系統的には全くかけ離れた生物ということになる。



(LLB 宮崎、モデルハウスのスギゴケ)

このように蘚苔類と地衣類は“血筋”では全く違うので、どちらであるかの区別は難しくはない。一般的に言えることは、蘚苔類は植物の仲間なので、草や木と同じように緑色の葉を持っている種類が多い。

いっぽう地衣類は葉は持たず、白や灰色、茶色がかかったもの、黄色や赤といった色の種類があり、形や色の違いなどから蘚苔類とは区別できそうだ。生えている場所も、蘚苔類は暗い場所に多く、地衣類は明るい場所に多いという傾向がある。

日本には蘚苔類は約2,000種、地衣類は約2,000種、合わせて約4,000種が分布している。

植栽に使われているコケは、ほとんどが蘚苔類のスギゴケかコスギゴケで、樹木の下の日陰に使って、冬に葉が落ちたときにコケの緑が映えるようになっている。雑草を抑制する効果もありそうだ。(参考図書：野外観察ハンドブック「校庭のコケ」)



(常陸那珂の家のスギゴケ)

## 珪藻土かべぬり体験会のお知らせ!

「一部分だけでも自分の手で塗り壁を仕上げてみたい」と言う方が増えています。この機会にぜひ体験して下さい。自分の家を自分の手で。リフォームでもOK。

1月27日(日) 13:30 ~ 15:30 限定2組

場所 : 夜ノ森南三丁目17 ギャラリーSORA

費用は1組3,000円です。



## OMソーラー活用のポイント(1)

### 室温設定について

OMソーラーの集熱取り込みは、室温設定により制御されます。例えば、室温設定を23に設定したとき、室温が24になれば集熱取り込みを終了し、排気運転に切り替わります。室温センサーの取り付け位置によっては、直射日光など外的要因によって、実際の室温以上の温度を感知します。その場合でも集熱取り込みから排気運転に切り替わりますので、十分に蓄熱することができないという現象が生じます。最近の制御ユニットは、全自動モード、季節モードがついているものが主流です。しかし、上記のような事があるため、せっかく太陽が出ているのに、蓄熱が不十分とすることがあります。操作説明書にもありますが、全自動モードは長期間不在にする場合など以外は使用せず、手動季節モードで運転してください。場合によっては、春、秋の中間期も冬モードで集熱蓄熱換気して、暑いときには窓を開けるなどして対処した方がいいでしょう。



## 【重要領域に生きる】

私たちの人生を豊かにし、本当の充実感をもたらすのは、「緊急」なことよりも「重要」なことを成し遂げた時ではないでしょうか。全ての活動を「緊急」と「重要」という観点であなたの行動を分析すると、「緊急かつ重要」、「緊急でないが重要」、「緊急だが重要ではない」、「緊急でも重要でもない」という4つに分類できると思います。これが「時間管理のマトリックス」です。

第II領域の「緊急ではないが重要」な活動は、問題が発生することを見越してその予防をしたり、真の成果を出すための長期プランを考えたり、重要な会議やプレゼンテーションに備えたり、豊かな人間関係を築くなどです。自分にとって本当に必要なのは「緊急ではないが重要なこと」の領域にないでしょうか。

こういった活動をおろそかにすると、小さな問題が深刻な危機になりやすく、第I領域の「緊急かつ重要」なことに費やす時間が増える悪循環に陥り、ストレスも増えるばかりです。反対に、「緊急ではないが重要」である計画や予防や準備に十分な時間を費やすと、重要なことが差し迫った緊急な問題になるのを防いで、第I領域を減らす効果がもたらされます。

「重要領域で生きる」とは、緊急性ではなく重要性によって人生を動かしていくということなのです。行動の基準となる「重要なこと」はひとりひとり異なりますから、あなたの「重要なこと」は何なのかを明確にしていくことが大切です。(フランクリン・プランニング・システム イントロダクションより抜粋)

「重要領域で生きる」とは、緊急性ではなく重要性によって人生を動かしていくということなのです。行動の基準となる「重要なこと」はひとりひとり異なりますから、あなたの「重要なこと」は何なのかを明確にしていくことが大切です。(フランクリン・プランニング・システム イントロダクションより抜粋)

「時間管理のマトリックス」

	緊急	緊急でない
重要	I 必須 締切のある仕事 重要な会議	II 生産性とバランス 豊かな人間関係作り 計画や準備
重要でない	III 錯覚 重要でない電話 妨害や邪魔	IV 無駄 単なる眠つぶし 意味のない行動

## 編集あとがき

今年から紙面をA4両面に変更させて頂きました。従来は、これから住宅建築を考えている方向けの内容になっていましたが、今後は、既にお住まいの方への情報を追加して、より多くの方に読んでいただけるよう内容を充実して参りたいと思います。季節感、時事感のある記事を織り交ぜて、編集人やスタッフの気になる情報を発信していきたいと思いますので、これからもよろしくお願ひ致します。